楽器が吹ける、楽譜が読める、音楽が分かるようになるには…

　楽器演奏や音楽が分かるようになるには、教えてもらうだけでなく、自分でできることもいっぱいあります。例えば…

・自分で調べられること　…　記号などの楽譜のこと、指づかい　など

・家でもできること　…　呼吸練習、動画鑑賞、楽器練習（周囲の迷惑にならないように）

・動画を見る　…　基礎奏法講座、様々な楽器の動画や参考演奏など（YouTubeにいっぱい！）

楽譜をもらったら…　能率よく楽譜を読もう！

**Ａ：まず、楽譜全体を見よう**

①調号(ト音記号やヘ音記号の次に書いてある(♯や♭)は？

　調号の♯・♭は、全ての音にかかる。（オクターブも）

　※途中で調号が変わるものも多いので注意しよう。

②自分に出ない音や分からない指づかいはないかな？

　調べたり聞いたり練習したりしよう。

③拍子は何？（例…分母は基準（１拍）となる音符、分子は拍子）

④リズムで分からないところはないかな？（楽典のまとめプリントを参考に！）

⑤記号で分からないものはないかな？

・リピート、ＤＳ、ＤＣ、コーダなど、音楽の進み方

・*ｐ*、*ｆ*などの強弱記号

・♩＝８０などのメトロノーム記号（１分間に♩を８０回打つ速さ　など）

・allegro　などの速度記号（Nemu Band Methodの最後のページを見よう）

・graveのような発想記号などの横文字表記（　〃　）

⑥階名で読んでみる。（指番号などはなるべく書かないようにしよう！）

　※階名で、音程を付けて歌えるようにすることがとても大切だよ！

**Ｂ：音を出してみよう**

⑦最初から全ての音を *ｆ* 、♩　で吹いてみよう。

　打楽器は、音符をたたいてみて、左右どちらがよいか確認しよう。

⑧音が跳んでいたり、音符が細かかったりして難しいところをチェックしよう。

⑨チェックしたところをできるように練習しよう。

⑩全体をブロックごとに練習しよう。

　最初は*ｆ*でゆっくりと。できたら指示されたテンポで。次に指示された強弱で。

⑪それぞれの部分の役割を考えよう。

　主旋律、対旋律、ハーモニー、伴奏、どの楽器と一緒？

⑫曲のイメージを考えて演奏しよう。

※　経験をつめば、上記のことが一気にできるようになります。始めてもらった楽譜をすぐに演奏することを「初見（しょけん）」と言います。初見で演奏できるようになる近道は、音階やスケール（分散和音）、ロングトーン、タンギング練習等の基礎練習をしっかりやり、たくさんの楽曲を経験することです。